

公立小学校の35人学級の継続を求める 意見書を国および東京都に提出を求める請願

先に財務省は公立小学校1年生の「35人学級」を2015年度から「40人学級」へ戻すことを財政制度審議会へ報告されました。教職員を4000人削減すれば国庫負担を削減できるとしています。現状でも子どもたちの就学状況は多様化し、教職員の負担は想像を絶する状況も見られます。学ぶ子どもたちの様々な状況が、学級運営を難しくする、保護者の要求も多様化し対応に苦慮するなどの身体的、心理的な負担となり体調を崩す教職員も出ていると聞き及んでいます。

少人数なら一人一人に目が行き届き、学ぶ環境も良く考えられることと思います。小学校1年生の定数を40人学級に戻すとは逆行しています。学校現場や保護者は他の学年にも広げてほしいと望んでいます。教室の広さが変わらず人数が増えたら、子どもの成長に合わせて机・いすが大きくなっているので、教師が子どものそばに行かれない状況も生まれます。

ぜひ、町田市議会からも35人学級継続の意見書を提出ください。

【請願項目】

1. 公立小学校1年生の「35人学級」の継続を求める意見書を
国および東京都に提出すること。